

2019年6月12日
定例記者会見

信頼できる情報を、社会へ



一般社団法人くすりの適正使用協議会
代表理事 俵木登美子

主な活動

1. 信頼できる医薬品情報の提供

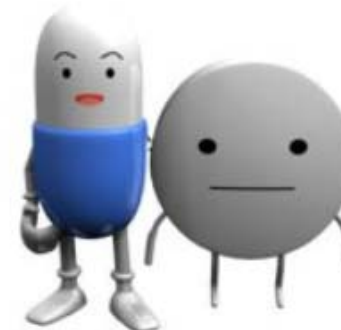
- 「くすりのしおり®」の公開
- バイオ医薬品の啓発

2. 医薬品の本質を理解し、医薬品を正しく活用する 能力の育成

- くすり教育の支援
- 一般国民への**医薬品リテラシー**の啓発

3. ベネフィット・リスクコミュニケーションの最適化

- **薬剤疫学の普及啓発**
- コンコードンス概念の啓発





医療用医薬品情報 「くすりのしおり®」

「くすりのしおり」
の公開

- 医療用医薬品の服薬指導のための患者向け情報。
- 175社の製薬企業の協力により作成。

「くすりのしおり」は16,316種類のくすりを検索することができます。

くすりのしおり 担当の方へ English 英語版くすりのしおり

くすりの検索 ? くすりのしおりとは データ購入のご案内

製品名で検索 主成分で検索 剤形で検索 シートの記載で検索 フリーワード検索

タミフル

企業名で絞り込む 全ての企業から検索

英語版の有無で絞り込む 英語版の有無を問わない

更に絞り込む

Q 以上の内容で検索する

「くすりのしおり」は16,316種類のくすりを検索することができます。

くすりのしおり 担当の方へ English 英語版くすりのしおり

くすりの検索 ? くすりのしおりとは データ購入のご案内

インフルエンザ 患者さん・周囲の方へ 厚生労働省からの注意喚起

検索結果 総件数: 4件 表示件数

ページ 1

タミフルカプセル75【治療用】

キーワード検索

製品名で検索

タミフル

全ての企業から検索

くすりのしおり

Internal
Revised: 11/2017

The information on this sheet is based on approvals granted by the Japanese regulatory authority. Approval details may vary by country. Medicines have adverse reactions (risks) as well as efficacies (benefits). It is important to minimize adverse reactions and maximize efficacy. To obtain a better therapeutic response, patients should understand their medication and cooperate with the treatment.

Brand name : TAMIFLU Capsule 75 [for treatment]
Active ingredient: Oseltamivir phosphate
Dosage form: pale yellow/light gray capsule (major axis: approx. 17.8mm)
Print on wrapping: タミフル75mg

Effects of this medicine
This medicine blocks influenza virus from leaving the infected cell in order to

くすりのしおり

中外製薬株式会社 内服剤
2018年11月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：タミフルカプセル75【治療用】
主成分：オセルタミビルリン酸塩（Oseltamivir phosphate）
剤形：淡黄色/明るい灰色のカプセル剤、長さ約17.8mm
シート記載：タミフル75mg

この薬の作用と効果について
インフルエンザウイルスに感染した細胞からウイルスが遊離するのを阻害することによりウイルスの増殖を抑えます。
通常、A型またはB型インフルエンザウイルス感染症の治療に用いられます。

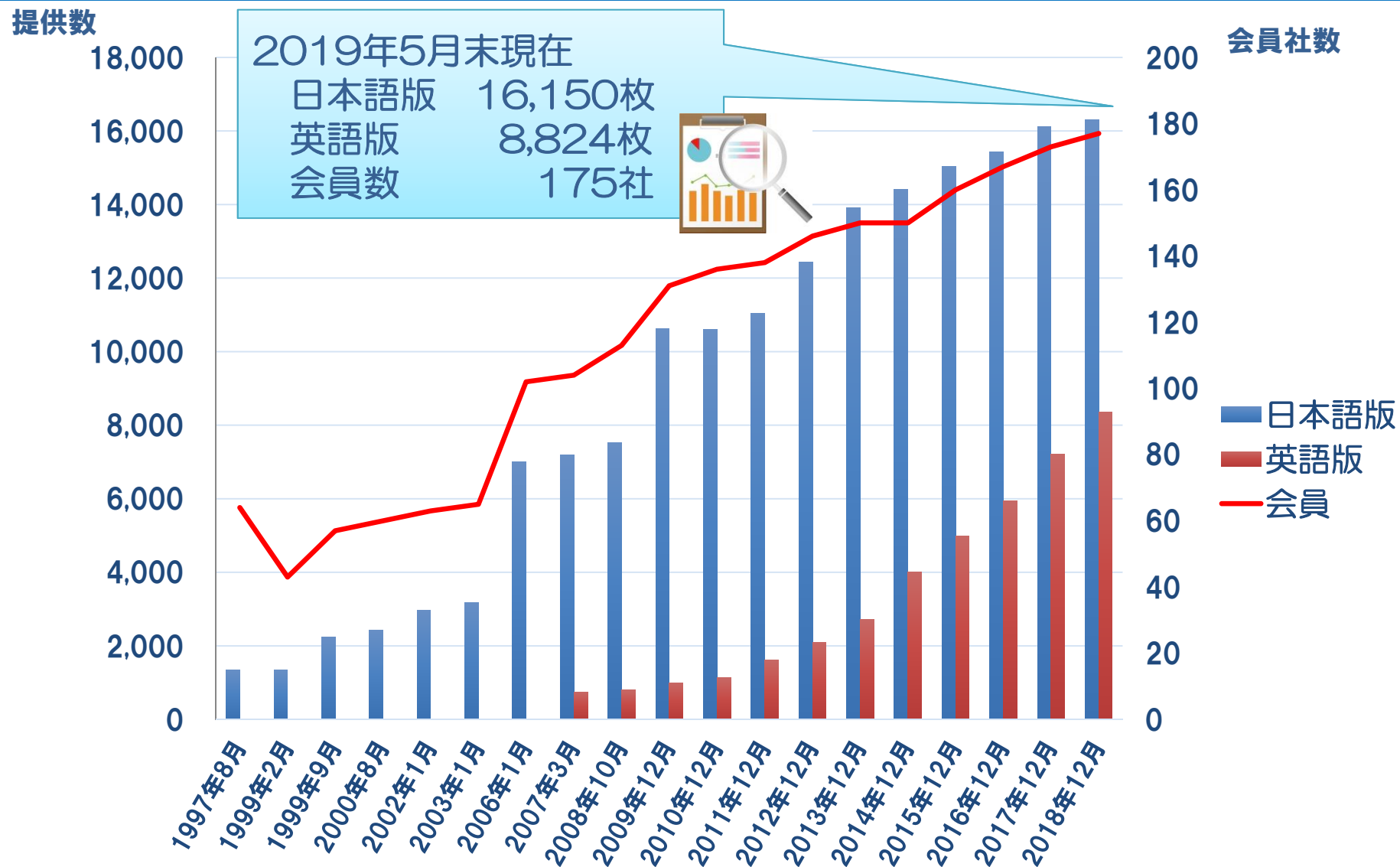
次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。
・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。腎機能障害、インフルエンザの症状があらわれてから48時間以上経過している。
・妊娠または授乳中
・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）
・あなたの用法・用量は（医療担当者記入）

通常、成人および体重37.5kg以上の小児は1回1カプセル（オセルタミビルとして75mg）を1日2回、2日間服用します。必ず指示された服用方法に従ってください。
・飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く飲んでください。絶対に2回分を一度に飲むではありません。

「くすりのしおり」提供状況

「くすりのしおり」
の公開



「くすりのしおり」データを 連携しているシステム

「くすりのしおり」
の公開

「くすりのしおり」データは約60のシステムにも活用され、多くの患者さんに情報を提供。

医療者向けシステム



★ 数字はシステム数

くすりのしおりデータ
日本語16,150
英語版8,824

合計約60システム

一般向けシステム



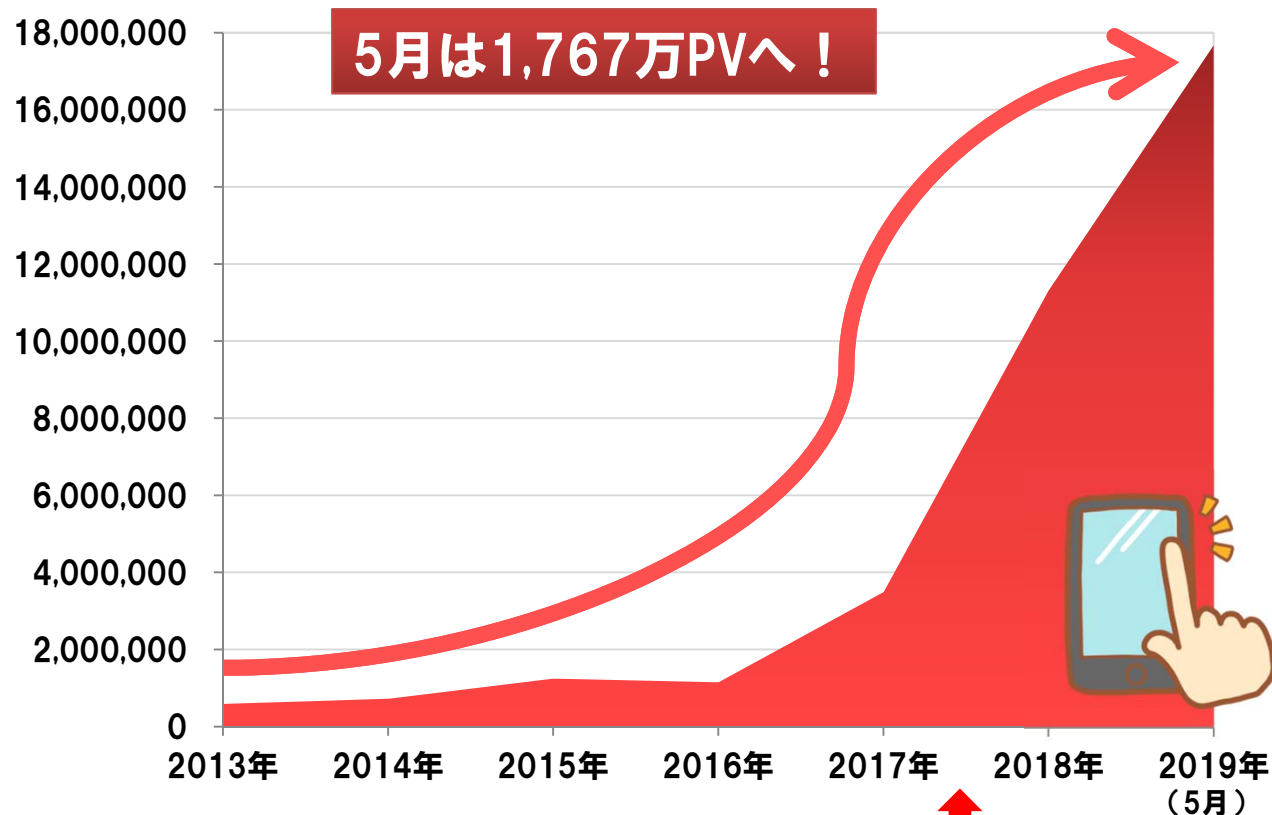
【主な連携先】
アイ・エム・エス・ジャパン(株)、(株)アイセイ薬局、(株)EMシステムズ、エムスリー(株)、(株)オールアバウト、一般社団法人大阪府薬剤師会、(株)Qlife、シミックヘルスケア(株)、日本医師会ORCA管理機構(株)、公益社団法人日本薬剤師会PHC(株)、(株)フリービットEPARKヘルスケア etc

協議会HP 「くすりのしおり」 アクセス状況

「くすりのしおり」
の公開

- Google検索式の変更の影響か、「くすりのしおり」アクセス件数が急増中。
- 5月のアクセスは1,767万PV。多くはスマホから。

月間PV



アクセス対象

しおり関連	99.32%
くすりの使い方	0.56%
協議会TOP	0.06%

アクセス入口

Organic Search (検索エンジン結果)	95.32%
Direct (ブックマーク、URL等)	3.98%
Referral (既存サイトからのリンク)	0.66%
Social (ソーシャルメディア)	0.03%

アクセス媒体

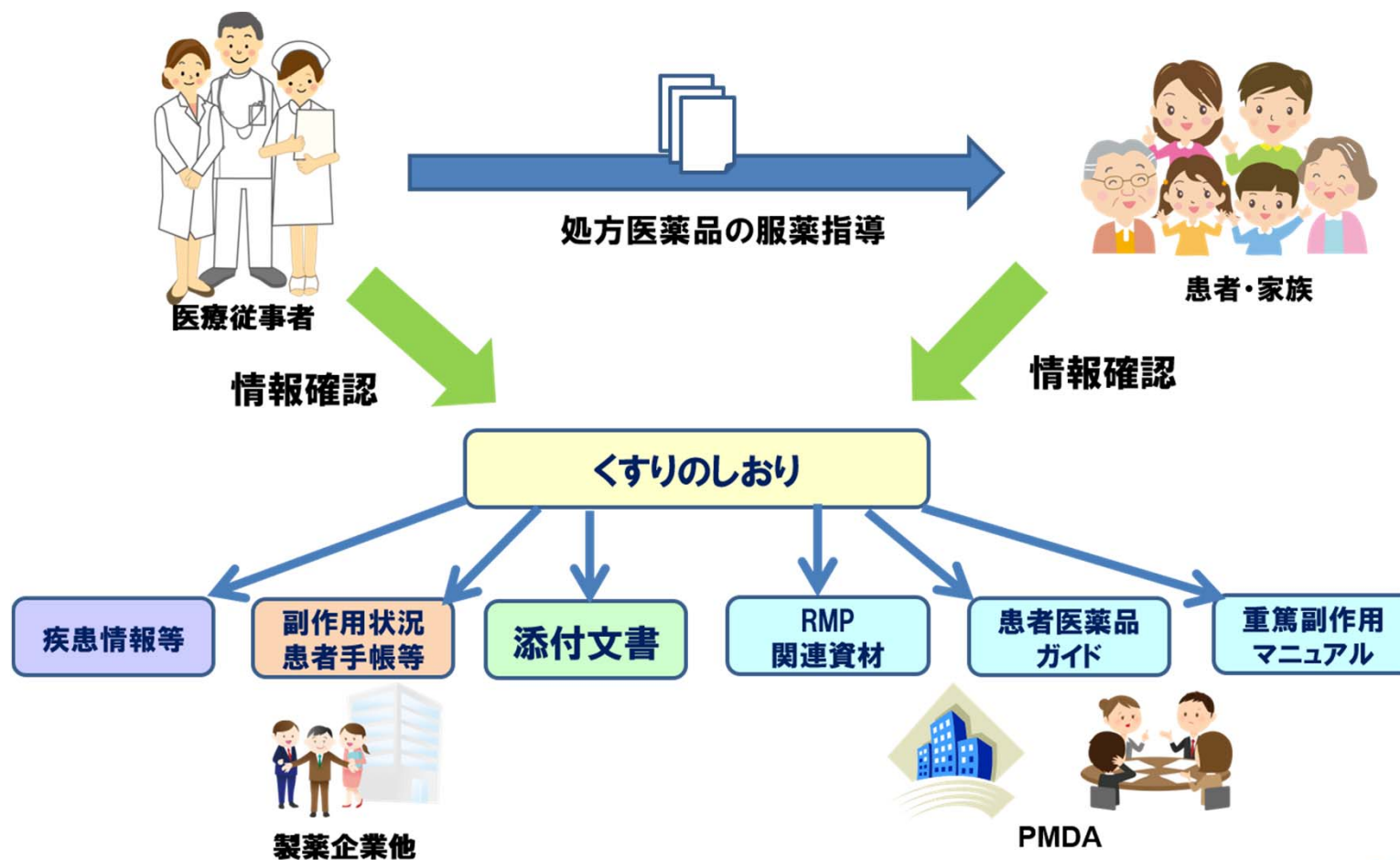
モバイル端末	80%
パソコン	15%
タブレット端末	5%

2017.10 Google検索式変更

信頼できる医薬品情報の 提供サイトの構築

「くすりのしおり」
の公開

- くすりのしおりサイトへの5月のアクセス回数が1,767万回超
- くすりのしおりサイトから信頼できる各種情報への連携を検討中



信頼できる医薬品情報に関する 取り組みの背景①

「くすりのしおり」
の公開

■ 厚生労働省の“**上手な医療のかかり方を広めるための懇談会**”が 民間での信頼できる医療情報サイト構築を奨励

「いのちをまもり、医療をまもる」国民プロジェクト5つの方策

- ① 患者・家族の不安を解消する取組を最優先で実施すること
- ② 医療の現場が危機である現状を国民に広く共有すること
- ③ 緊急時の相談電話やサイトを導入・周知・活用すること
- ④ 信頼できる医療情報を見やすくまとめて提供すること
- ⑤ チーム医療を徹底し、患者・家族の相談体制を確立すること

行政のアクション(一部抜粋)

□ 「信頼できる医療情報サイト」の認証や支援をする

民間企業のアクション(一部抜粋)

□ ユーザーフレンドリーな「医療情報サイト」の構築を進める

※※上手な医療のかかり方を広めるための懇談会 提言(2018年12月7日)より

信頼できる医薬品情報に関する 取り組みの背景②

「くすりのしおり」
の公開

- AMED研究事業山本美智子（熊大教授）班「患者・消費者向け医薬品等情報の提供のあり方に関する研究」とも連携

研究のフローチャート

日本の現状・課題の分析・評価と解決策の検討

医薬品等の提供情報の評価基準の検討・設定

インターネット、記事情報等を対象に、有用性評価基準の検討

中山
北澤

流通している医薬品等情報の実態調査

国内学術団体、職能団体、公的機関等に対し、提供状況をアンケート調査し、評価後フィードバック

後藤

国内外の有用な医薬品等情報リソース調査

- 国内：公的機関を含め評価基準に準拠した有用なサイトの所在とそのコンテンツの調査・分析
- 海外：米、英、豪などの公的な医薬品等情報サービスの提供状況・運用に関する調査・分析
- Choosing Wiselyにおける「提唱リスト」の解析

患者・消費者に
向けた医薬品等
情報サイトのバ
イロット運用

情報サイト
の評価
と改善

山本
佐藤
北澤

荒

患者・消費者の認識・利用状況・ニーズに関する実態調査

- 文献調査（系統的レビュー）
- 医療機関での患者の医薬品情報の利用・ニーズを調査

入江

平成30年度

平成31年度

平成32年度

AMED医薬品規制調和・評価研究事業 患者・消費者向け医薬品等情報の提供のあり方に関する研究 会議資料(2018年6月22日)より

TOKYO2020オリ・パラに向け、 英語版「くすりのしおり」の作成推進

「くすりのしおり」
の公開

くすりのしおり英語版が、厚生労働省委託事業
「医療機関のための外国人患者受入れサイト」に掲載



6 団体連携体制の継続

－ 健康や医療・医薬品に関する情報を正しく理解していただくために－

医薬品
リテラシーの
啓発

- 2018年3月28日、以下の6団体が協働して声明を発信。
- 健康や医療・医薬品に関する膨大な情報が氾濫し、ときには、リスクやベネフィットの過剰表現や科学的根拠に基づかない情報、断定的な情報も含まれる中で、一人ひとりが**本当に役に立つ正しい情報を見いだし、活用していただくためにはどうしたらよいのか**という課題に連携して対応していくことを宣言
- 2019年5月20日、引き続き連携を進めることを確認。

役職等は当時



ささえあい医療人権センター-COML 理事長
山口育子氏



日本薬剤師会
副会長
田尻泰典氏



日本医師会
副会長
今村 聡氏



日本医学ジャーナリスト協会 会長
水巻中正氏



日本製薬工業協会
医薬品評価委員会
PMS 部会長
服部洋子氏



くすりの適正使用
協議会
理事長 黒川達夫氏

共同ステートメントの発信 2018年3月28日

ー健康や医療・医薬品に関する情報を正しく理解していただくためにー

医薬品
リテラシーの
啓発

【宣言と呼びかけ】

①私達は、医療・医薬品に関する基礎知識の普及啓発を図ってまいります

病に悩む患者さんが科学的根拠のない情報や極端な情報に翻弄され、予期しない事態に陥ることのないよう、情報の読み解き方等の基本的な知識から医療の不確実性と個性等を含め、幅広く基礎知識が習得できる資材を協力して作成します。

これらの資材は、関係した団体のイベント・学術大会での市民公開講座や自治体による各種イベント等での活用を求め、継続して啓発していきます。検定試験等、既存の仕組みや資材も合わせて活用することで、最終的に個人が医療専門家と一緒に自らの症状や疾病に合う治療計画を選択し、理解を深めることができるように支援します。

②私達は、医療・医薬品に関する関係者間の共通認識の醸成に取り組めます

教育現場への支援を継続すると共に、マスコミとの意見交換会等、医療・医薬品に関する関係者間の理解を深め、互いのコミュニケーションの一助となる場を企画運営します。

また、科学的に不正確な情報が氾濫することがないよう、関係省庁や学会・医会等で看過できない情報を目にしたとき、速やかに関係者間で情報共有し、質を高める努力をすると同時に国民の方々への注意喚起を行います。

③私達は、専門家の活用をお奨めします

かかりつけ医：医師は、常に患者さん個々の症状に応じた最善の治療を考えています。健康に関して不安に思っていることや些細なことなど、気兼ねなくいつでもかかりつけ医に相談してください。日頃の診療のほか、必要な時は専門の医療機関の紹介もしてくれます。是非信頼できるかかりつけ医を持っていたき、情報を自己判断する前に頼りにしてください。

かかりつけ薬剤師：患者さんから薬や健康の相談を受け、情報提供を行うことはもちろん、安全・安心な薬物治療を受けられるよう薬の専門家として常に身近で支援しています。薬剤師は一人ひとりの服薬状況をまとめて管理し、必要に応じて問い合わせや提案も行います。情報を自己判断する前に、かかりつけ薬剤師を頼りにしてください。

① 私達は、医療・医薬品に関する基礎知識の普及啓発を図ってまいります

② 私達は、医療・医薬品に関する関係者間の共通認識の醸成に取り組めます

③ 私達は、専門家の活用をお奨めします

ステートメントの取組み継続の確認

① 私達は、医療・医薬品に関する基礎知識の普及啓発を図ってまいります

- ・日本健康会議、公開講座、市民養成講座、セミナーなどの取組み
- ・健康食品に関する国民向け啓発活動
- ・情報の批判的吟味に関する啓発活動
- ・適正な医療・医薬品情報の報道
- ・患者を対象とした相談活動

② 私達は、医療・医薬品に関する関係者間の共通認識の醸成に取り組みます

- ・関係者を対象とした各種セミナーなどの取組み
- ・健康教育、くすり教育の推進
- ・看過できない情報に対する連携した対応

③ 私達は、専門家の活用をお奨めします

- ・かかりつけ医、かかりつけ薬剤師に関する啓発

基礎知識の普及啓発

医薬品
リテラシーの
啓発

- 日本薬剤師会、製薬協と協働して、信頼できる情報の見極め方についての啓発活動を展開。
- 本年10月の日本薬剤師会学術大会において市民公開講座を開催するとともに、啓発資材の策定を検討。

■ 第52回日本薬剤師会学術大会 市民公開講座

- ✓ 日時：2019年10月14日(月) 13:00-15:00
- ✓ 場所：下関市生涯学習プラザ 海のホール
- ✓ テーマ：その情報、信じていいの？
～正しい医療情報の見極め方、検索のポイントとは～

6団体の今後の連携の方向性

医薬品
リテラシーの
啓発

新たな取組み

- 特にポリファーマシー問題に対して連携した対応を進める
 - 患者・家族、一般の方向けの啓発活動の推進（製薬協と連携）
 - かかりつけ医による対応の推進
 - かかりつけ薬剤師による対応の推進
- 信頼できる医療・医薬品情報を連携したサイトの構築を検討する（製薬協と連携）



『子どもにくすりをのませるコツ』 Webサイト公開

医薬品
リテラシーの
啓発

2019年2月、保護者向け情報をリニューアル

◆ 監修: 明治薬科大学 薬学部教授 石川洋一先生

◆ 内容: くすりの基礎知識、のむための環境づくり、
内用薬や外用薬の詳しい使い方、
薬剤師に確認しておく8つのポイント

冊子版
サンプルは
お手元!

子ども くすり コツ

検索

<http://www.rad-ar.or.jp/use/child/>



くすりについて説明しましょう。
お子さんが薬を理解できるようにになったら、
うこと、くすりを使えばよくなることを説明してあげましょう。
また、くすりを受け取る際はどのような
作用が起きる可能性があるか確認してく
ださい。何かあったら、お子さんが
自分から言えるよう「が飲めたら教え
てあげよう」等先に伝えておくといでしょう。

■ 成長に応じたくすりののませ方

誕生	6ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳
母乳 授乳	母乳 授乳	母乳 授乳	母乳 授乳	母乳 授乳	母乳 授乳
母乳	母乳	母乳	母乳	母乳	母乳
母乳	母乳	母乳	母乳	母乳	母乳
母乳	母乳	母乳	母乳	母乳	母乳
母乳	母乳	母乳	母乳	母乳	母乳
母乳	母乳	母乳	母乳	母乳	母乳
母乳	母乳	母乳	母乳	母乳	母乳
母乳	母乳	母乳	母乳	母乳	母乳
母乳	母乳	母乳	母乳	母乳	母乳



情報サイト紹介カードの作成・配布

医薬品
リテラシーの
啓発

■情報サイトへのQRコードを付けた 名刺型カードを2種作成・配布 『子どもにくすりをのませるコツ』 『妊娠・授乳と薬』)

カード
サンプルは
お手元！



カード50枚までなら
無料提供(送料無料)
協議会事務局まで
お問合せください！

既に約3,000枚配布済
(5月末時点)

<主な配布先>

- ・都内の保育園グループ(アソシエインターナショナル20施設)
- ・聖路加国際病院

薬剤疫学セミナー

薬剤疫学の
普及啓発

- 薬剤疫学入門セミナーを毎年開催
- 今年度も以下のとおり開催予定
 - 大阪会場 2019年7月04日（木）メルパルク大阪
 - 東京会場 2019年7月18日（木）東京・大手町サンスカイルーム
- 実践的なグループワークセミナーを11月以降に開催予定





信頼できる情報を、社会へ